

碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

現在 2年6月 会員数
 地区 156名
 逗子地区 268名
 葉山地区 47名
 大船地区 471名
 (合計)

2年6月号(215号)
 発行 者 根岸 岳 萃
 編集 者 中村 愛 岳

碩心会新役員きまる

去る5月30日の碩心会理事会に於て、左記の通り新役員が選出され、決定しました。

名譽会長 松井岳洋
 会長 根岸岳萃
 副会長 加藤岳相
 相談役 三井岳瑞
 参事 沼田岳雷
 井沢潮岳
 小峯桜岳
 森田暁岳
 秋元梁岳
 常任理事 加藤圭岳 (総務部長)
 中村幸岳 (許証部長)
 竹石憲岳 (教務部長)
 中村愛岳 (広報部長)
 (新) 矢嶋悦岳 (会計部長)
 村田滯岳 (企画部長)
 千葉劔岳 (逗子地区長)
 (新) 沼田義岳 (葉山地区長)
 (新) 木村松岳 (大船地区長)
 (新) 鈴木孝岳 (会計監査)
 鈴木萃岳 ()
 本部署 宇都宮徳風 (総務副部長)

杉山雪岳 (許証副部長)
 (新) 上村象岳 ()
 (新) 松野宝岳 (教務副部長)
 (新) 山口夕岳 (広報副部長)
 (新) 佐久間爽岳 ()
 (新) 西村昌岳 (会計副部長)
 綾部秋岳 (企画副部長)
 (新) 松井正風 ()
 (新) 清水耀岳 (逗子副地区長)
 (新) 三留岑岳 (葉山)
 (新) 岩崎恵岳 (大船)

平成二年度

碩心会理事会議事録

日時 平成2年5月30日(水) 午後6:30より
 場所 逗子桜山下会館

加藤(圭)常任理事の司会により、定刻加藤副会長の開会の辞により開会、沼田常任理事の指導で「碩心会の詩」を合吟、つづいて根岸会長及び三井相談役の挨拶があり議事に入る。

(正・副議長並びに書記任命)
 司会者一任により、議長に根岸会長、副議

長に加藤副会長が、又書記に宇都宮本部理事が任命された。

(議 事)

一、各地区長・各部長報告

葉山地区長 沼田岳雷

◇来る7月8日の横須賀第二地区吟道大会に何分の協力をお願いします。

逗子地区長 千葉劔岳

◇地区会員の現状及び、夏期講習会への申込みについて報告。

◇7月1日の岳風忌に故岳香が合祀されるので、わたくしが遺族として出席する。

大船地区長 森田曉岳

◇今年度の地区温習会は、大船地区の担当で11月に行うことになっているので、各地区各位のご協力をお願いします。

総務部長 加藤圭岳

◇平成二年度行事予定プリントを配布し説明入会届、退会変更訂正届の新フォームを配付して、記入上の注意事項を説明。

許証部長 中村幸岳

◇八段審査は今まで県本部で行っていたが、今後は碩心会で行う。

◇皆伝以上は従来通り県本部で行う。

◇碩心会秋期審査会は9月16日に決定。

◇審査課題吟は変わらない。

◇審査料の収支については会計監査を受けて適正に処理している。

教務部長 竹石憲岳

◇毎月最終月曜日、松井岳洋名誉会長の指導を受ける指導者講習会を開催し、会務運営上の連絡を兼ねているので、吟法の指導等の質問等あれば指導者に申し出てほしい。

◇教本関係は従来通り松井正風が担当。

◇総本部主催の夏期吟道講座は、7月28日(上) 29日(日)に行われるが、今回は奥伝以上に制限された。講習会費八千円は6月10日までに申込み。

◇県本部主催の指導者講習会は8月19日(日)防大中講堂で行われる。

広報部長 中村愛岳

◇会員に徹底すべき広報事項を掲載するのでよく読んでほしい。

◇詩吟に関係ある寄稿をお願いします。

企画部長 村田滯岳

◇千葉岳香前企画部長急逝の後を受けて担当しているが、碩心会初吟会は故人が全部企画され、24名の盛会であった。

◇5月6日の温習会も皆さんの協力で無事に終り感謝に絶えません。

◇来年の初吟会は1月の第2日曜日を計画、一色A、吟甫支部が当番となるのでよろし

くお願いします。

会計部長 秋元梁岳

◇新入会員の各会費納入額についてプリント配布説明。(詳細は広報・碩心に掲載)

二、平成元年度決算報告

並びに会計監査報告

秋元会計部長より報告があり、(次年度繰越金額三七七、四六八円)井沢監査役から適正であるとの報告があり承認された。

三、平成二年度予算案の審議

秋元会計部長より、別紙プリントにより説明があり、異議なく承認された。

四、任期満了による役員改選

根岸議長が任期満了による役員改選を如何にすべきかと諮ったところ、議長に一任して、常任理事会の協議結果の発表をして、改選を諮ってはどうかとの動議が出され、これを理事会一同賛成し決定、発表された。

次に議長より、長い間常任理事として活躍されたが、今回退任される沼田岳雷、小峯桜岳、井沢潮岳、森田曉岳、秋元梁岳の五氏は参事となり、後進の指導に当たることになった旨の報告があった。

新入会員の会費納入額一覧表 (平成2年4月適用)
(一般会員)

入会月	頑心会費	県本部費	総本部費		合計
			当年分	翌年分	
4月					
5月	625	1,000	1,000	500	3,125
6月	500	800	1,000	500	2,800
7月	375	600	1,000	500	2,475
8月	250	400	1,000	500	2,150
9月			1,000		1,000
10月	750	1,200	1,000	500	3,450
11月	625	1,000	1,000	500	3,125
12月	500	800	1,000	500	2,800
1月	375	600	1,000	500	2,475
2月	250	400	1,000	500	2,150
3月	125	200	1,000	500	1,825
(高齢・身障者)					
4月					
5月	625	500			1,125
6月	500	400			900
7月	375	300			675
8月	250	200			450
9月					
10月	750	600			1,350
11月	625	500			1,125
12月	500	400			900
1月	375	300			675
2月	250	200			450
3月	125	100			225
(年少者=中学生まで)					
4月					
5月	625	100	500	250	1,475
6月	500	80	500	250	1,330
7月	375	60	500	250	1,185
8月	250	40	500	250	1,040
9月			500		500
10月	750	120	500	250	1,620
11月	625	100	500	250	1,475
12月	500	80	500	250	1,330
1月	375	60	500	250	1,185
2月	250	40	500	250	1,040
3月	125	20	500	250	895

入会届に合計金額を添えて総務部に提出する。各月1日付入会者の金額を示す。
2日付以降の入会者は翌月分金額を添える。
例 5月2日～31日の入会者は6月分合計 2,800円を添える (一般会員の場合)

- ◎頑心会費=年額 1,500円 (月額 125円)
- ◎県本部費=年額 2,400円 (月額 200円)
但し高齢者・身障者は半額、年少者 (中学生まで) は年額 240円 (月額 20円)
- ◎総本部費= 1,000円
但し年少者 (中学生まで) は 500円、高齢者・身障者は免除
- ◎総本部費翌年分は、4月1日付納入のため会計処理上、半期分前納してもらうもの

つづいて各部の副部長、各地区の副地区長が決定、発表された。
五、その他
根岸議長から一時は530名の会員が、最近で

は465名と漸減しているのは誠に淋しく、各理事が力を合せて、会員増加に尽力してもらいたい。又指導者も現在41名であるが、取敢えず50名位まで増やしたいのでご協力をお願い

したいとの要請があった。
以上を以て議事終了、議長団及び書記の解任をなし、最後に再び加藤副会長が閉会の辞をなし、8時45分理事会を終了。 宇都宮記

練吟
メモ 巨匠 立日 階階

○「朗詠集」が発刊されてもう六年になる。今頃になっていまさらと思われる方もあろうが、巻頭に「俳句」の朗詠法について、次のように心得がうたつてある。

わび、さび、かろみを表現するのに漢詩・短歌とは趣きを変えて長音階であるところに留意し、緩急強弱・間の工夫に熟練を要する。
(・点はひ筆者が付す)

右のことは、毎年実施される県本部の俳句講座で、担当講師からそのつど冒頭に注意されることである。音楽の門外漢である筆者は、なじみの薄い、長音階などという音楽用語はつい(或いは承知で)聞き流してきたというのが本音であらう。

○前項の説明で漢詩、短歌、それと新体詩は短音階で、俳句は、長音階であるという。

それでは、長音階とは何ぞやということになるが、広辞苑では「全音階の一種。主音と第三音の間が長三度をなす音階。第三音と第四音、第七音と第八音との間が半音でその他の各音の間は全音程をなす階。ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドの階名で表わされる。一般に明快・流麗、剛毅・闊達などの表現に

適する」と説明してある。

○もっと分かりやすい解説はないかと図書館で音楽大辞典などをあさったが、大きな辞典になればなるほど専門的でよけい分からなくなる。そこで方向転換をして市販の「詩吟朗詠法」等にあたった。その方が素人には了解できそうなので、その結果を要約してみると概ね次のようになった。

◇長音階(陽旋律 Mメジャー)

鳩ポッポ、桃太郎、春の小川、螢の光、ソ

ーラン節、ひえつき節、軍艦マーチ

◇短音階(陰旋律 mマイナー)

赤い靴、青葉の笛、君恋し、荒城の月、佐

渡おけき、黒田節、五木の子守唄

○朗詠関係の音階は右の二大別に属する。さて、アメリカで流行した歌謡曲は、90パーセント以上が長音階で陽気に、派手な曲が多いのに、日本のそれは驚くほど短音階で淋しげな、悲しげな曲が多い。日本の琴や琵琶など、わが国古来の楽曲のほとんどが短音階に属しているところを見ると国民性のあらわれといつてよいかも知れない。そうしたなかの最も日本的な旋律の一つが詩吟であると言われている。

○長音階の俳句の朗詠について述べるつもりが、脱線して素人的「長音階」の説明で終つ

てしまった。どなたか本会報に説明していただけたらとひそかに念願している。

(移 籍)

20 松野宝岳 沼間支部より山の根支部へ
536 中村かをる 銀詠支部より逗子A支部へ

(入 会)

- 569 今井恵美子 葉山町長柄三〇〇
(一色B) 電〇四六八七五二二三三三
570 今井 照雄 葉山町長柄三〇〇
(二色B) 電〇四六八七五二二三三三
571 市川シズエ 葉山町長柄三二六
(一色B) 電〇四六八七五二二〇六
572 長瀬 雅子 葉山町長柄三三三
(二色B) 電〇四六八七五二一六二〇
573 沼田 昭子 葉山町長柄三二六
(一色B) 電〇四六八七五二一四二二七
574 永山 悦子 逗子市池子一五一一五
(若葉) 電〇四六八七二二二七五
575 小高 肇 (高) 逗子市山ノ根三一九一一
(山ノ根) 電〇四六八七二二一五五四
576 小高 サタ 逗子市山ノ根三一九一一
(山ノ根) 電〇四六八七二二一五五四

(退 会)

432 島田勝一 (逗子A) 528 井上孝子 (逗子A)